



新発田市立七葉中学校学校だより<題名は教育目標より>

磨け自己 高めよ理想

【目指す生徒の姿】 自他の良さに気づき、主体となって取り組む生徒

新発田市立七葉中学校

新発田市上館乙 84-2

電話 0254-22-3524

令和5年4月26日号

令和5年度入学式式辞より (一部抜粋) 校長 新井 達夫

新入生の皆さん、今どんな目標をもっていますか？この七葉中学校でどんな3年間を過ごそうと考えていますか。中学校の3年間は皆さんを大きく成長させると思います。しかし、目標をもった3年間と、何となく過ごす3年間では、皆さんの成長に大きな差ができると考えています。



「目標をもつ」とは、その実現のための方法を考え、実行に移すことです。例えば「テストで85点以上とる」あるいは、「部活動の大会で優勝する」と目標を設定したとします。目標実現のために、今の自分の実力から「自分の強みと弱み」を考え、強みをさらに伸ばしたり、弱みを補強したりする方法を考えます。それが勉強であったり、練習であったりします。勉強や練習をして、ミニテストや練習試合などで成果を確認し、次の方法をもう一度考えて実行に移す。この繰り返しになるのだと思います。

では、そんな時に学校で、皆さんの一番の力になってくれる人は誰でしょうか？先生方はもちろんですが、それ以上に学級や学年の仲間だと私は思います。皆さんの仲間が、時にはあなたを助けてくれたり、逆にあなたが仲間を助けたりすることもあるでしょう。学習の場面では、分からないところを教えたり、教えてもらったりするでしょう。そして、一緒に笑ったり、怒ったり、悔しがったり、時には怒られたりもするでしょう。一人の時間も大切ですが、仲間との時間も大切な時間です。中学校生活という限られた時間をぜひ多くの仲間と共に過ごしてほしいです。

仲間との大切な時間をより良くする方法をもう一つだけ話させてください。それは「相手に直接、自分の言葉で伝える」ことです。「友達は言葉にしなくても、きっと自分の気持ちを分かってくれている。」と思うかもしれませんが、自分の気持ちを言葉で表そうとすると、恥ずかしいかもしれません。でも、相手に自分の気持ちをより正確に伝える方法があるのでしょうか。SNSなどを利用しても、文字にするとうまく伝わらないことがあります。あなたの表情、声の大きさ、話し方などそのすべてが「相手に直接、自分の言葉で伝える」ことの最大の力です。だから、自分の気持ちや考えを直接「言葉」で相手に伝えてください。うれしい気持ち、感謝の気持ち、悔しい気持ち、悲しい気持ち、「言葉」で伝えることで、相手に「共感」や「感謝」の気持ちが伝わります。「言葉」を伝えられた相手はあなたへの「信頼」や自分自身への「自信」を感じるでしょう。それが仲間の絆をより深めていきます。そしてその繰り返しが、勉強だけでは身に付けることができない力を育ててくれると私は信じています。しかし「言葉」は時には凶器となり、相手の心を傷つけ、時には「命」を奪うこともあります。それが「いじめ」で使われる言葉です。もちろん、中学校でも「いじめ」は絶対に許しません。「いじめ」に対して私たち七葉中学校教職員は毅然とした態度で臨み、皆さんのご家族と連携して指導をしていきます。